

2015年度 事業報告書

2015年度、フェアトレード・ラベル・ジャパン(FLJ)では、「フェアトレード勉強会の実施」「ネットワーキング」「組織基盤強化」を重点テーマに沿え、国際フェアトレード認証ラベル・認証製品の普及推進に取り組んだ。

特に組織基盤強化の面では、社会からより信頼・支持される組織づくりを目指し、ガバナンスの強化や支持者拡大を目指し、認定NPO法人化に向けた体制づくりに取り組んだ。



1. 認証・ライセンス事業

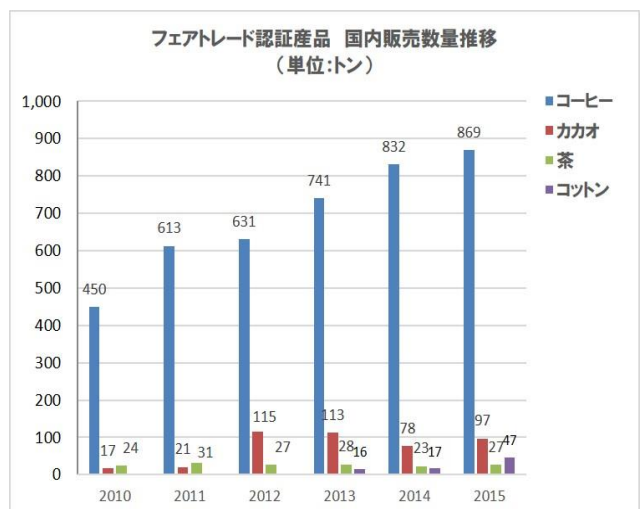
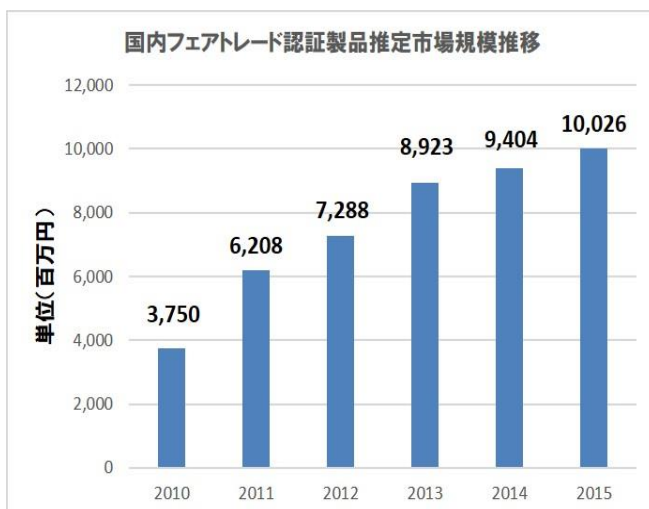
1-1 市場動向概況

2015年(1月~12月)国内の国際フェアトレード認証製品市場規模は推定で初めて100億円を超えた(前年対比107%)。主要産品であるコーヒー、カカオ、コットン、バナナを中心に、新規参加組織数の拡大だけでなく、既存登録組織による取扱い産品カテゴリーや商品数の拡大、また参加組織間の連携促進を通して、市場拡大に取り組んだ。また本年度は、本業以外でのフェアトレードへの取り組みとして、社内消費・調達におけるフェアトレード認証製品の採用事例が増加した。

(2016年3月31日時点)

	2015年度	2014年度	前年度対比
フェアトレード参加組織数(※1)	178	166	107%
ライセンス数(※2)	54	58	93%

(※1) FLJ認証組織(輸入、製造、卸、ライセンス)、FLOCERT認証組織、製造受託組織、海外完成品輸入組織等
(※2) 最終製品の販売者・ブランドオーナー



(コーヒーは焙煎豆ベースの数量、カカオは生豆ベースの数量)

1-2 新規認証組織

組織名	役割	産品
有限会社フェアレーディング	小規模ライセンス	コーヒー; カカオ
特定非営利活動法人樹林館	小規模ライセンス	サトウキビ糖
株式会社アール・キュービック	製造; ライセンス	生鮮果物
福島珈琲	小規模ライセンス	コーヒー
チョコレートデザイン株式会社	製造; ライセンス	カカオ
株式会社エム・シー・フーズ	卸	コーヒー
株式会社ジェイエネックス	輸入; 製造; ライセンス	オイルシード・油脂果実; 加工果物・野菜
日の出毛織株式会社	製造; ライセンス	繊維
壺内タオル株式会社	製造; ライセンス	繊維
株式会社ジュン	ライセンス	繊維

1-3 主なマーケットの動き

4月	大日本印刷株式会社	オリジナルキャラクター DNPenguinのカフェートバッグとブックカバーを発売。	
	オルビス株式会社	セネガル産フェアトレード認証コットンを採用したエプロンを数量限定発売。やわらかなパイル地とムーミン柄が特徴。	
6月	わかちあいプロジェクト	日本初フェアトレード認証リップクリーム発売。ガーナ産のシアバター、モロッコ産のアルガンオイル、パレスチナ産のアーモンドオイルなどのフェアトレード認証原材料を使用。	
	株式会社NTTデータ	株主総会の手土産用にフェアトレードケーキを商品開発。	
7月	チョコレートデザイン株式会社	Fairtrade Internationalの新しい認証プログラム「フェアトレード調達プログラム」に参加表明。2020年までにフェアトレード認証カカオ調達量100トンを目指すを発表。	
	イオン株式会社	第23回世界スカウトジャンボリーの大会公式ネットカーフにセネガル産フェアトレード認証コットンが採用。大会期間中、世界中から集まった約3万4千人以上の参加者全員が着用。(大会スポンサーのイオン(株)から参加者へ提供)	
9月	イオン株式会社 イオントップバリュ株式会社	フェアトレード調達プログラム参加商品として、2商品が発売。	
11月	シェイクシャック	ニューヨーク発、ハンバーガーショップ「シェイク シャック」が日本初上陸。フェアトレード認証コーヒーをつかったフェアトレードコーヒーシェイク発売。	
12月	株式会社フェアトレードコットン イニシアティブ	国際基督教大学(ICU)の同窓会グッズとして、現役学生との共同企画でフェアトレード認証コットンバッグとブックカバーを製造販売。	
3月	ベン&ジェリーズ	アメリカのプレミアムアイスクリームブランド、ベン&ジェリーズ店舗でフェアトレード認証コーヒーの提供開始	

1-4 ステークホルダーとのコミュニケーション促進・ネットワーク構築

- フェアトレード社内勉強会： 計49回実施： 新規検討企業34社、既存登録企業15社
国際フェアトレード認証のしくみや基準、フェアトレードがもたらすインパクト、企業が取り組む意義など、フェアトレードへの理解を深めてもらおうと、通年を通じて企業でのフェアトレード勉強会を実施。その結果、フェアトレード認証製品の販売促進などに繋がっている。

- 第8回ステークホルダー会合開催（7月9日）

国際フェアトレード認証製品を取り扱う企業・団体が一堂に会する年に一度の「ステークホルダー会合」。46社、85名が参加。大日本印刷株式会社より企画立案、会場提供、当日の運営等で協力を得て、同社との共催で開催。企業事例発表やパネルディスカッション、グループディスカッション等を通して、企業・団体間の情報交換やネットワーク構築を図った。

『なぜフェアトレードか ～それぞれの立場から～』と題したパネルディスカッションでは、一般財団法人CSOネットワーク事務局長・理事の黒田かをり氏と、フリーアナウンサーで一般社団法人エシカル協会代表理事の末吉里花氏をゲストスピーカーに迎え、サステナビリティに向けた世界動向や、企業・市民・学生のそれぞれの立場からの取組みやその工夫などが共有された。



* 会合の様子は、YouTubeでも視聴可能 <https://www.youtube.com/user/FairtradeLabelJapan>

- 日本フィランソロピー協会との共同企画フェアトレードセミナー（5月14日@東京、9月28日@大阪）
社内消費で積極的にフェアトレード認証製品を取り入れている企業有志の呼びかけで、公益社団法人日本フィランソロピー協会の主催でフェアトレードセミナー開催。東京と大阪で計44社、83名が参加。



東京のセミナーでは、東京大学名誉教授 山本 良一氏による基調講演に始まり、参加者全員で体験型ワークショップ「貿易ゲーム」を行い、グローバル貿易による経済格差を疑似体験（写真左）。社内消費で積極的にフェアトレード認証製品を取り入れている企業3社からの事例発表（写真右は、(株)NTTデータ社会貢献推進室の前田京子氏からの事例発表の様子）。コニカミノルタジャパン(株)が会場とコーヒー提供で協力、大日本印刷(株)からは、休憩時間にフェアトレード認証砂糖を使ったマカロンを提供（写真中央）。

- ビジネスセミナー「 Cottonのサステナビリティ最前線」（10月16日）

ファッションビジネス専門誌の織研新聞社との共催でビジネスセミナーを開催。Fairtrade Internationalのグローバル・プロダクト・マネージャー(コットン)、アヌップ・クマール・シン氏をメインスピーカーに迎え、国際フェアトレード認証コットン生産・貿易と欧州ブランド・大型小売店における調達戦略の最新動向を共有。サプライチェーンにおける人権課題やサステナビリティへの取り組みの具体策として、国際フェアトレード認証の取り組みを提案した。

1-5 フェアトレード認証規定関係

2015年度は、Fairtrade International (FI) の認証機関向け新規格「Assurance Code」(*)に準拠した事業体制のもとで、監査・認証事業の運用を開始した。その他、下記の整備に取り組んだ。

- Trader Standard 改訂対応
- 監査業務管理システムの導入

(*) Assurance Code (AC) とは、FIがメンバーとなっているISEAL (International Social and Environmental Accreditation and Labelling) が定める監査認証プロセスに関する基準。持続可能性に関する基準の施行に関し、信頼性および実効性を高めることを目的としたガイドライン。ISO17065 (製品認証機関に対する要求事項) の内容も網羅している。AC遵守は、ISEALアライアンスのフルメンバーシップ要件となっている。

1-6 監査業務

<本年度の監査実施件数>

監査の種類	件数
初回監査	14
更新監査	14
中間監査	11
非通知監査	1
合計	40件

<認証判定結果>

認証取得・更新(継続)	37件
認証一時停止	5件(*1)
認証取消	1件(*2)
未判定(改善措置対応中)	2件

- (*1) 5件中4件は、改善措置が確認され認証が更新・継続された
(*2) 度重なる報告義務・支払義務の不履行による

監査で確認された不適合項目は、主に、取引先とのフェアトレード基準遵守に関する書面締結不足や、売買関係書類へのフェアトレード関連項目の記載漏れなどで、今後、事業者への基準遵守の指導を徹底していく必要がある。

2. 普及啓発・広報事業

2-1 普及啓発イベント

- 「フェアトレード月間」強化(5月)
 - ・ 認証・登録組織によるフェアトレードの活動を促進し、FLJでも情報発信を行った。
 - ・ イオン系列ダイエー関西地区店舗でのフェアトレードイベントへの協力(FI事務局長がビデオメッセージで参加)



- FTSN関東 学生交流会への協力(5/24 @明治大学)

フェアトレード学生ネットワーク(FTSN)関東主催による交流会に企画協力。

当日は、森永製菓株式会社とスターバックス コーヒー ジャパン 株式会社から、フェアトレードへの取り組みが紹介され、各社のフェアトレード認証チョコレートとコーヒーの試食・試飲提供もなされた。約60名の参加者と、



フェアトレードの意義やインパクトを共有し、国際フェアトレード認証への理解を深めてもらう機会となった。

- 「フェアトレードフェスタちは2015」への後援(5/9 @千葉市きぼーる)
- 「カフェ・喫茶ショー2015」への後援(6/16-18 @東京ビッグサイト)
- 日本オーガニック検査員協会×日本オーガニック・コットン協会共催イベントへの協力(7/18)
- 名古屋市フェアトレードタウン認定式典参加(アジア生産者ネットワーク代表からビデオメッセージ)(9/19)
- 「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」への協賛(10/1-10/30)
- イオンリテール(株) Fairy's Favourite オープン1か月記念トークイベント参加(10/18 @イオン茅ヶ崎店)
- エコプロダクツ展 出展企業への協力: 展示物、トークセッション等(12/10-12 @東京ビッグサイト)

2-2 広報事業・普及啓発サポート活動

- ウェブサイト、ソーシャルメディアを活用した情報発信（通年）
- 中学・高校・大学の学園祭などイベントへの広報物・教材の販売・提供・貸出し（通年）
- ソーシャルグッドプラットフォームgooddoへの参加
- セミナー・シンポジウム等での講演（以下、主な講演実績）
 - ・経団連 社会貢献担当者懇談会 海外の社会課題解決に向けた企業とNPOの協働事例（6月12日）
 - ・フェアトレード・コンシェルジュ講座（9月1日 @東京・中目黒ピオキッチンスタジオ）
 - ・川崎市教育委員会 市民講座「平和・人権学習」（11月7日 @川崎市宮前市民館）
 - ・京都事業連合 大学生協京滋・奈良ブロック主催 消費者教育セミナー（11月22日 @京都）
 - ・ワン・ワールド・フェスティバル トークイベント（2月6日 @大阪）
 - ・オーガニックEXPO 2016（2月11日 @東京ビッグサイト）
- メディア取材対応（年間計48媒体：テレビ3、新聞14、雑誌4、ウェブ8、その他19）
- 書籍・教科書・教材への掲載対応（年間計22媒体）

2-3 教育

小学校の副教材や中学校・高校の英語、社会科、家庭科等、複数の科目で教科書にフェアトレードおよび国際フェアトレード認証ラベルが取り上げられており、教育機関からの教材提供や授業の依頼が増加している。

- 教育機関からの授業依頼：神奈川県立水取沢高等学校、東京都立井草高等学校、青山学院大学
- 教育機関（小・中・高、大学）、公的機関、消費者教育機関へのサポート：教材提供・販売 年間63件

3. ネットワーキング・連携活動

3-1 国内団体との連携・ネットワーク参加

- | | |
|-------------------------------|---------|
| ● 特定非営利活動法人国際協力NGOセンター(JANIC) | -正会員 |
| ● 一般社団法人日本フェアトレード・フォーラム(FTFJ) | -正会員 |
| ● なんとかしなきゃ！プロジェクト | -メンバー団体 |
| ● 日本エシカル推進協議会 | -会員 |

- 日本エシカル推進協議会主催「エシカル朝食会」への参加
 毎回ゲストスピーカーを囲み、エシカルな朝食を交えながらエシカルへの理解を深めることが目的の朝食会。第2回は、内閣総理大臣夫人の安倍昭恵氏がゲストスピーカー。



会場の学士会館へ働きかけ、当日の朝食メニューに、オリーブオイルや黒コショウ、白砂糖やいちごジャム等フェアトレード認証食材を取り入れてもらい、安倍昭恵夫人ならびに50名以上の大手企業からの参加者に、フェアトレード食材を味わっていただく貴重な機会となった。

3-2 アドボカシー

- 経済産業省：環境負荷可視化に係る国際動向の勉強会 コミュニケーションWG委員として参加
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック調達基準への提言活動
 - ・日本エシカル推進協議会「エシカル調達ガイドライン配慮項目リスト」作成参加
 - ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会「持続可能性に配慮した調達コード」への提言
 - ・マルチステークホルダー会議「2020年の食材調達と食品リサイクル」での提案

4. FLJ組織運営

4-1 FLJ組織体制（2016年3月31日現在）

- ・正会員： 個人会員15、団体会員2
- ・サポーター： Web登録サポーター503名、年間サポーター9名
- ・役員： 理事5名、監事2名
- ・事務局： 職員5名(常勤4/非常勤1)、企業研修生1名、学生インターン2名

● 通常総会開催

日時： 2015年6月27日(土) 12:45～15:45

場所： FLJ事務所

議題： 決議事項 (第1号議案) 2014年度 決算に関する事項
(第2号議案) 2014年度 事業に関する事項
(第3号議案) 監事選任に関する事項

報告事項 2015年度収支予算、2015年度事業計画、次期理事について

● 理事会運営

・第1回： 2015年4月1日(水) 14:30～16:00

Fairtrade International(FI) 共同プロジェクト進捗、新役員選出、役員任期

・第2回： 2015年6月27日(土) 10:00～12:00

2014年度収支決算書・事業報告書承認、2015年度予算案・事業計画案、新役員選出

・第3回： 2015年11月19日(木) 14:30～17:00

新役員選出、2015年度上半期 収支・業況報告、組織基盤強化(認定NPO法人化、認証料金改定)

・第4回： 2016年2月27日(土) 14:30～17:30

FI共同プロジェクト進捗、2015年度収支見込、認定NPO要件、2016年度重点課題

・第5回： 2016年3月26日(土) 10:00～12:00

2015年度収支見込、2016年度予算承認、FI共同プロジェクト、役員任期、新役員選出

4-2 組織基盤強化への取組み

- ・FI共同プロジェクト： 2020年市場拡大中期戦略案の策定と新組織体制構築
- ・理事会強化： 各分野の専門性強化(CSR、法務、税務、会計)
- ・組織力強化： 認定NPO法人化を目指し準備開始、組織理念づくり
- ・マイナンバー制度対策： 取扱規定、情報管理体制、情報漏洩対策等

4-3 内部監査の実施（1月7日）

2015年度は、ISEAL (International Social and Environmental Accreditation and Labelling) が定める Assurance Code (監査認証プロセスに関する基準) に従った監査認証運用の開始初年度であった。新体制での運用状況を内部監査で確認し、1件の改善指摘事項(*)を除き、全般的に遵守状況が確認された。

(*) 改善指摘事項⇒認証判断に影響を及ぼさないよう、FLJ各部署の公平性リスク排除の方策を定めること
(2016年2月にすでに改善対応済み)